

# 国際ビジネスにおいて いっそう複雑化する規制に 対応することの重要性

Gideon Moore  
Firmwide Managing Partner  
Linklaters



環境、社会およびガバナンス問題（ESG）に対する世の中の考え方や取り組みについては、しばらく前からすでに著しい変化の兆しがありましたが、この18カ月間の出来事により変化のペースは加速しました。2020年の世界的なパンデミック、その他の出来事により国際企業にとって社会的不公正、不平等、人種差別、気候変動、贈収賄や腐敗行為ならびにかつてないほどの技術革新およびデジタル化の役割増大などの問題に取り組む必要性が大幅に増えており、世界各国の規制当局はこれらのことにますます焦点を当てています。

環境面では、2020年に日本、中国および韓国がネットゼロエミッションの達成に向けて歴史的な声明を発表しました。また、米国の新政権および議会の発足、2021年11月の英国におけるCOP26、英国とヨーロッパにおける新たな気候変動関連の財務情報開示要請、企業に対してESG問題を扱うよう求める投資家の圧力の高まりのすべてが、2021年は言葉を実行に移すための重要な年であることを示しています。企業は、世界的に、ネットゼロなどのESG目標について強固で実現可能な計画の実行に移ること、また既存の戦略を確実に実施し、改善し続けることに注力するよう求められています。

規制当局、投資家その他のステークホルダーは世界的に現状に即した、信頼性のある、比較可能な、より多くの、そしてより優れたESGデータを求め続けています。英国では、優良上場企業に対しては2021年1

月1日以降に始まる報告期間以降について気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の勧告に従った報告が求められており、その他の大企業、銀行、資産運用会社、年金基金に対しては2025年までに同様の報告が義務付けられることが予想されます。EUでは、資産運用会社や他の金融市場参加者は、サステナブルファイナンス開示規則のもとで、新たな持続可能性データをすべて開示しなければならず、その結果、企業はこれらの情報を投資家に提供するよう圧力をかけられることとなります。米国をはじめとする各国政府も、気候関連の開示制度の変更を検討しています。この分野は、世界的に規制当局が重きをおいている重要なものです。

最上位の課題となっているのは気候変動だけではありません。国際企業の経営陣は、企業の責任に関する見解が広がっていることによって、規制関連の負担が大きくなり、訴訟のリスクが大きくなることを想定する必要があります。贈収賄や腐敗行為のリスクは依然として深刻です。効果的なガバナンス体制の中核となるのは、贈収賄や腐敗行為を防止し、発見するための規制の枠組みを含む、倫理的義務と法的義務の両方を遵守する文化を育成することです。

人権、および他者への影響に対する企業の責任は、サプライチェーンと顧客対応の両面において、ヨーロッパでは新たな法律の主題となっています。これは、EUに商品またはサービスを提供する国際的な企業（設

立地は問わない) に対し、人権、環境問題、ならびにグッドガバナンスに関して実際に生じている悪影響、または生じる可能性のある悪影響に関して強制的にデュー・デリジェンスの実施を求めるものです。

また、多国籍企業グループは、引き続き、親会社レベルで、子会社の行動に対する注意義務責任に基づく訴訟の対象となっています<sup>注</sup>。これらの事例は、メディアの注目を著しく集めるため、企業の評判に大きな影響を及ぼす可能性があります。

このような背景のもと、国際的な企業にとって、新たな、そして急速に変化する規制を考慮し、またこれに備えてESGの観点を運営ならびにガバナンスの枠組みと十分に一体化させることが重要です。そして、2020年にパンデミックやさまざまな進展によってもたらされた変化は、困難と同じぐらい機会も生み出しているといえます。規制環境がますます厳しくなっているなかで、十分な情報を得て、十分な準備ができており、柔軟であることをいとわない国際企業は、自らが繁栄するために適切な決定を下せることでしょう。

注：Okpabi v Royal Dutch Shellの訴訟における連合王国最高裁判決を参照。ロンドンに本社を置くロイヤル・ダッチ・シェル社がナイジェリアの完全子会社の運営をさまざまな方法でコントロールし指示していたという主張を根拠に、英国の裁判所に訴訟が持ち込まれたもの。

(筆者紹介)

Gideon Moore is Linklaters' Firmwide Managing Partner, a role he has held since January 2016. In this role, he chairs the global law firm's Executive Committee and is a member of its Partnership Board. Previously global head of the firm's banking practice and co-head of its leveraged finance practice, he is one of the market's foremost experts in leveraged and acquisition finance.

As Firmwide Managing Partner, Gideon has led the development and implementation of a strategy focused on delivery of best in class legal support and consistently excellent client service. Key to this objective is attracting, developing and retaining exceptional talent, fostering a culture of teamwork, innovation and entrepreneurialism and creating an environment where all people across the firm feel they belong and have a fair and equal opportunity to reach their full potential.

